ANA CORPORATE NEWSLETTER



DOMESTIC

INTERNATIONAL

2022.6

新サービスモデル「ANA Smart Travel」が始動します

ANAでは、この度すべてのお客様に、ストレスのないスムーズな旅をご提供する新サービスモデル「ANA Smart Travel」を始動します。 旅の計画から空港や機内でお過ごしいただく時間、そして到着後まで、全てのシーンでお客様のスマートフォンなどのモバイルデバイスが、 パーソナライズされた情報でお客様をサポートします。 **1.ANAアプリのプッシュ通知はフライトの予約をお持ちのお客様のみ対象です。

これからの流れ

お客様のデバイス一つで ANAを体験頂けます。

お客様の希望するタイミング、場所で手続きを済ませ、





搭乗準備

運航情報をお届け※1

搭乗便の





タッチする





機内エンターテイメントを 利用する

各シーンのサービス

- (1) 旅行の計画・予約:お客様のスマートフォンなどで、お客様の旅の目的などに合わせて簡単に「旅行の計画」や「予約・購入」ができ、 各種渡航書類の登録や、機内食・機内販売の事前予約など、旅の過ごし方をご自身で計画することができます。
- (2) 空港到着前まで:空港到着前までにオンラインチェックインをお済ませください。
- (3) 空港の過ごし方:ANAアプリからワンタップでモバイル搭乗券を発行できます。空港到着後はカウンターに立ち寄らず保安検査場を 通過し、飛行機へご搭乗いただけます。
- (4) 機内の過ごし方:ANAアプリから機内Wi-Fiインターネット接続サービスをご利用いただけるほか、機内誌「翼の王国」や雑誌・新聞はお客様のデバイスからご覧いただけます。また、事前に予約した機内食や機内販売商品を確実にお楽しみいただけます。※ご利用対象者には一部制限がございます。サービス内容は国内線と国際線、また機材により異なります。
- (5) お客様の旅のサポート:ご搭乗の各シーンに合わせて、提供サービスのご案内や、欠航・遅延などの運航に関する便利な情報を タイムリーにスマートフォンに通知し、お客様の旅をサポートします。

SKiPサービス、

各空港の自動チェックイン機について

現在国内線でご提供しているSKiPサービスは2023年3月31日をもって終了します。 また、2023年4月以降順次、国内線自動チェックイン機のお取り扱いも終了します。

INTERNATIONAL

▶ 詳細はこちらのURLをご確認ください。<u>https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/ana-smart-travel/</u>

ルフトハンザ グループからのお知らせ

■ ルフトハンザドイツ航空は、2022年6月1日(ミュンヘン発)より羽田=ミュンヘン線週3便の 運航を再開しております。さらに、現在週3便運航の羽田=フランクフルト線には、ファーストクラス を備えたB747-8型機を再投入され、機材の大型化に伴い、増々利便性が向上しております。 また、オーストリア航空にて運航中の成田=ウィーン線、スイス インターナショナル エアラインズにて 運航中の成田=チューリッと線と併せて、現在日本発着路線は合計4路線、最大で週9便運航 しており、今後も段階的な増便を予定しております。



【2022年6月現在、ルフトハンザ グループ運航便】

LUFTHANSA GROUP

運航航空会社	路線	便名、ダイヤ	運航予定便数
	羽田=フランクフルト	LH716 フランクフルト 13:55⇒羽田 9:45(翌日)	3便/週(火·木·土)
ロコレルン.44* ビノハウニウカ	33田ーノフンソフルト	LH717 羽田 11:35⇒フランクフルト 19:15	3便/週(水·金·日)
ルフトハンザ ドイツ航空	羽田=ミュンヘン	LH714 ミュンヘン 12:40⇒羽田 8:10(翌日)	3便/週(水·金·日)
	初田=ミュンペン	LH715 羽田 9:40⇒ミュンヘン 17:20	3便/週(火·木·土) 3便/週(水·金·日)
オーストリア航空	成田=ウィーン	OS051 ウィーン 13:10⇒成田 8:30(翌日)	1便/週(水)
オーストリア航空	一	OS052 成田 9:15⇒ウィーン 16:35(翌日)	3便/週(火·木·土) 3便/週(水·金·日) 3便/週(水·金·日) 3便/週(月·木·土) 1便/週(水) 1便/週(金) 2便/週(木·金)
スイス インターナショナル エアラインズ	成田=チューリッヒ	ロ_チューリット 13:00⇒成田 9:10(翌日) 2년	2便/週(木·金)
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ルスローノユーリッし	LX161 成田 11:10⇒チューリッヒ 18:50	2便/週(月·土)

◆最新のSWISSプレミアムエコノミーが日本路線へ導入!

スイス インターナショナル エアラインズでは、全てのB777-300ER機へ最新のSWISSプレミアムエコノミーが導入されております。また、日本路線としては2022年5月23日の成田 = チューリッと線より、ご利用が可能となっております。

機内ではもっとゆったりと過ごしたい、長距離のフライトでもリラックスして目的地に到着したい、とご希望のお客様に特にお勧めです。充実の機内食、大型スクリーン、ウェルカムドリンクなど、フライト中のさまざまな特典が期待できます。旅の新たなスタンダードをぜひお楽しみください。



ANA CORPORATE NEWSLETTER





ANA Future Promiseの取り組みを紹介します

ANAグループでは、「ANA Future Promise」のスローガンのもと、持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指し、 「環境(Environment)」、「社会(Social)」、「ガバナンス(Governance)」に配慮したESG経営を推進しています。 この度、「CO2排出量削減」に関する取り組みが追加されましたので、ご紹介いたします。

◆ダイヤ管理のプロ、低燃料機材の積極使用でCO2排出量削減に貢献 CO2排出量削減





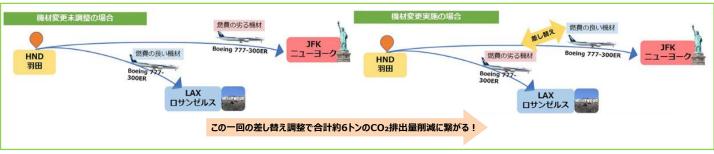


ANAブランド全運航便の運航管理・ダイヤ管理を行うANAオペレーションマネジメントセンター(以下、OMC)では、CO2を極力排出 しない地球環境に優しいオペレーションができるよう、翌日以降の機材と路線の組み合わせを都度見直し、低燃費機材の優先稼働を 実施しています。同じコンフィギュレーション(同じ席数・同じ配列)内での機材変更のため、お客様には座席変更のご不便をお掛け することなく、CO2排出量の削減に貢献することができます。

◆低燃費機材の選定

ボーイングフフフやボーイングフ8フのように、機種や型式が異なれば、同じ距離を飛行しても消費燃料に差があることは知られていますが、 実は同じボーイング777-300ER型機でもエンジンの燃料の流れや機体が受ける抵抗は一機ごとに違いがあり、燃費性能に差がある のです。この機体ごとの燃費性能は毎月の飛行データから算出され、一便一便の適切な搭載燃料量が飛行実施計画に反映されて います。OMCではこの燃費性能の差を活用し、低燃費の機体を優先的に稼働させたり、より長い路線に割り当てることで、CO2の排出 削減に取り組んでいます。

機材変更によるCO2排出量の削減を示した図



詳細はこちらのURLをご確認ください。https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/ana-future-promise/

INTERNATIONAL

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う各国における出入国規制や検疫体制、需要動向等を踏まえ、2022年6月14日から 2022年10月30日までの追加分および7月1日から8月31日までの欧州線国際線運航計画をご案内いたします。 運休・減便に伴い、ご利用のお客様にはご不便をおかけして申し訳ございませんが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【2022年6月14日~6月30日 追加分】

エリア	都市	路線	運航予定便数	前回との変化	備考
アジア シンガポール	成田=シンガポール	7往復/週	継続	6/14~	
	羽田=シンガポール	5往復/週(月·木·金·土·日)	継続	6/20~	

【2022年7月1日~10月30日 追加分】

エリア	都市	路線	運航予定便数	前回との変化	備考
アジア	ジャカルタ	羽田=ジャカルタ	4往復/週(火·木·金·日)	増便	

【2022年7月1日~8月31日までの欧州線運航計画】

エリア	都市	路線	運航予定便数	前回との変化	備考
	ロンドン	羽田=ロンドン	7往復/週	増便	
欧州	パリ	羽田=パリ	3往復/週(水・金・日)	増便	8/24〜 水・金・日運航 ※7/1-8/23 往路:7/7、7/9、7/28、8/21運航 復路:7/8、7/10、7/29、8/22運航
	フランクフルト	羽田=フランクフルト	7便/週 往路 3便/週 復路(月·金·土)(NH203/204)	増便	8/1~ 復路 月・金・日 運航
			3便/週 往路(月・金・土)7便/週 復路 (NH223/224)	増便	8/1~ 往路 月・金・日 運航
	ブリュッセル	成田=ブリュッセル	2往復/週(水・土)	継続	

【臨時便 路線】

エリア	都市	路線	運航予定便数	前回との変化	備考
北米	シカゴ	シカゴ = 関西	-	臨時便	7/2運航

* これらの計画は関係当局の認可を前提としています。 当日の運航状況により、運航機材が変更となる可能性があります。